

「地理歴史（世界史）」の出題の意図

第 1 問

第 1 問は、近代世界における独立国を君主政国家と共和政国家に分けた上で、それらの成立と改革について問うている問題です。対象とする地理的範囲はかなり広がっていますが、指定された語句はどれも高等学校の世界史でなじみのあるものばかりです。そのためこの問題では、細かな知識ではなく、よく知られた事象を整理し、記述する能力が必要となります。地図からは、さまざまな新国家の誕生の時期と、諸国での憲法制定の動きが読み取れます。導入文を踏まえると、共和政国家の誕生がある時期に集中していたこと、また多くの君主政国家が憲法を制定していたことの二つが理解されるはずです。これら二つを大きな軸とし、それに指定語句を具体的な歴史事象として肉付けする形で解答文を作成することが求められています。

第 2 問

第 2 問は、水は人類の活動にとって不可欠な資源であるとした上で、その水を大量かつ恒常的に供給する河川が、歴史の展開に重要な役割を果たしたという趣旨で問題が設定されています。問 (1) では、中国の歴史において、長江流域の発展がもたらした影響について注目します。まずは 3 世紀になって江南に皇帝を君主とする国が現れ、その後の中国文化の中心地の一つとなる都市が築かれたことやその歴史、ついで長江流域の農業発展が中国全体の経済発展を牽引するようになっていったことを問うています。問 (2) ではティグリス川・ユーフラテス川流域における都市と文化の発展について注目します。まずは 8 世紀になってこの流域にイスラム世界の主要都市の一つが築かれたこと、またそこにトルコ系の人々が入ってきて軍事力として活躍するようになったこと、ついでそれ以前にもこの流域に重要な都市が築かれていたことを問うています。問 (3) はナイル川流域における農業と商業の発展について注目します。まずはナイル川の特徴が、その流域における農業の発展と深く結びついていたこと、ついでこの川が、地中海交易とインド洋交易を結ぶ通路となっていたことを問うています。

第 3 問

第 3 問は、10 の問いを設定しています。それぞれ問うているのは、組織・事件・書物・人物などの名称です。時代と地域について広く知識を問いつつ、健康・病気・医学といったものが、こういった名称にまつわる事柄とどのように歴史的に関係するのか考えてほしいと思っています。

第3問 解答例

問(1) ペロポネソス戦争

問(2) デカメロン

問(3) 本草綱目

問(4) バタヴィア

問(5) コッホ

問(6) 京都議定書

問(7) 茶

問(8) マウリヤ朝

問(9) イブン・シーナー

問(10) 陰陽家